

持続可能な 林業を模索中

～積丹町で実施した

5年の活動報告と課題と展望～

発表者：積丹グリーン代表 森田信道

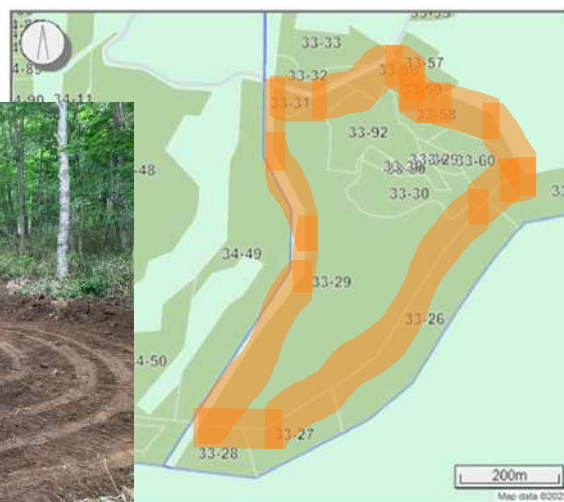




活動フィールド (1)

- 積丹町に2カ所
- 森林面積が町の83%。二級河川も3本
- 森林組合や林業会社はなく、林業が盛んな土地ではない

野塚（たんたん山）
21ha

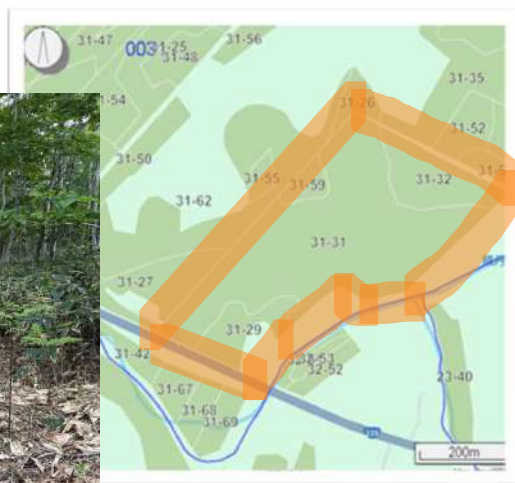


活動フィールド (2)

●野塚（愛称：たんたん山）21ha 積丹岳の南斜面、
広葉樹 9 割、針葉樹 1 割 ニセアカシア多

●日司町（愛称：えんがわ山）13ha 標高210mの
台地の南東斜面 ナラ、シラカバメイン

日司町（えんがわ山）
13ha





活動の目標

- 林業だけで自立し、継続していけること
- 脱サラ未経験から林業というモデルケース
- 製造と森林サービスという2本柱

製造／薪、ホダギ、クラフト

森林サービス／イベント、ワークショップ、場所提供

- 多くの方に山に興味をもってもらう



これまでの 取り組み（１）

- 最初の2年は作業道作り、笹刈り
- 薪置き場、作業基地（駐車スペース）
- 3年目から薪製造も本格化
 - ・ 破砕力21トンの薪割り機を共同購入
 - ・ 昨年は90立法の薪を製造・販売



これまでの 取り組み（２）

●2年目から林内でイベント

- ・ 山菜・白樺樹液採取、薪割体験、焚き火体験
ホダギ作り、ヴィヒタ作り、丸太イス作り
モルック大会、グリーンウッドワーク

●地道な活動が続けることが持続可能な運営の 手掛かりに



成果

- 安全、安心して作業ができるインフラが確立
- 薪製造・販売の仕組みを確保
- 積丹町の各団体とのネットワークを構築
- 関係人口の作業者増加、今後も期待



課題と展開

- 一番大きなものは活動資金
- 複業実践型には人工林のしぼり
 - 天然林も対象になることを希望
- 放置された天然林→安全なエリアへ
- 積丹グリーンだからできることにチャレンジ

ご清聴ありがとうございました



SYAKOTANGREEN